

## 「連合2023平和行動 in 根室」派遣団報告

### ～北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！日ロ平和条約の締結を！～

### ～平和ノサップ集會に、全国から863名が参加～



主催者を代表して挨拶する清水秀行連合事務局長

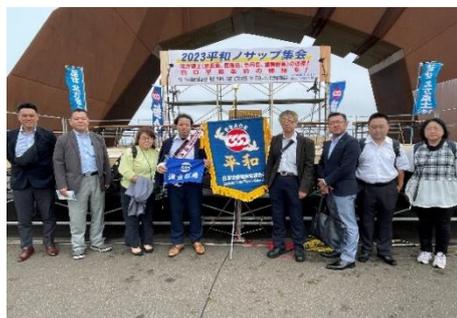
研究会のこれまでの取り組みについて」の講演と映画『ジョバンニの島』を視聴した。

主催者を代表して連合清水秀行事務局長は、「平和を求め、平和を守る。今も昔も、そしてこれから先も、平和は、連合が労働運動に取り組む上で大きな柱となっている。また、ロシアによるウクライナ軍事侵略以降の流れに触れ、北方四島の一括返還と日ロ平和条約の締結を通じて、北方領土問題を早期に解決し、真の意味での戦後を迎える必要がある。元島民の方々は、ふるさとに戻れず78年が経過した。元島民の平均年齢は87歳を超え、残された時間は決定長くない」と平和の重要性を集會参加者に呼びかけた。

続いて地元地方連合会を代表し杉山元・連合北海道会長より「根室に近い矢白別演習場では、今年も来週、日米共同訓練が予定されていること、昨年12月に『防衛3文書』を閣議決定した。これらは北方領土の返還を願う元島民の想いや「平和行動 in 根室」の取り組みを続けてきた私たちの想いを踏みにじるものである。平和は武力ではなく外交努力の積み重ねでしか実現できない」と訴えた。

次に、来賓挨拶として、岡嶋秀典・北海道北方領土対策根室地域本部本部長より、北海道知事の挨拶が代読され、続いて石垣雅敏・根室市長、山本茂樹・北方領土問題対策協会理事長、最後に、元島民の訴えとして鈴木咲子氏（択捉島出身）から「北方領土は元島民にとってはかけがえのない故郷であり、それ以上に、先人たちが心血を注いで開拓してきた日本の大切な土地であることを忘れてはならない」と語った。特別報告として中村雅之・連

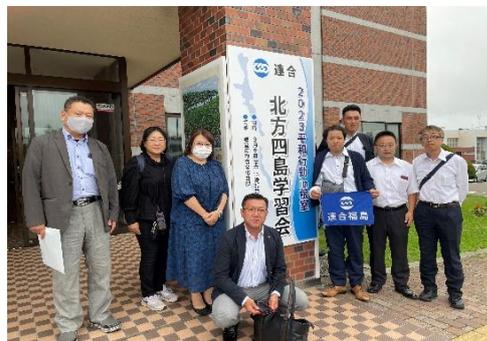
合島根西部地協青年女性委員会副委員長より連合島根、連合中国ブロック連絡会が取り組んでいる「竹島領土権確立に向けた取り組み」について、特別報告を受けた。続いて、2024平和行動 in 沖縄に向けて連合平和行動旗・ピースフラッグが引き継がれ、中澤愛樹・連合北海道根室地区連合会副事務局長による集會アピールが満場一致の拍手で採択されたあと、浅野康敏・連合北海道釧根地域協議会会長の発声による「がんばろう三唱」で閉会となった。三輪団長統率のもと、参加者が協力し一定の成果を上げられたことに感謝申し上げる。



連合平和ノサップ集會に参加する派遣団

9月10日「連合2024平和ノサップ集會」は、望郷の岬公園で、「北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！日ロ平和条約の締結を！」をテーマに開催され、全国の構成組織・地方連合会から計863名が参加し、連合福島からは、派遣団として三輪祐樹田村地区連合議長を団長に8名が参加した。

その前日には、北方領土問題の経緯や現状、課題と展望について学び、元島民が故郷・北方四島に寄せる想いを聞く「北方四島学習会」が開催され、連合福島はCコースに参加し、半田つくし氏（根室高等学校北方領土根室研究会会長）「北方領土をめぐるこれまでの議論と北方領土根室



北方四島学習会会場の様子